

## 1. 導入経過

増大する原子力界の計算需要に対処するため、厚産として ①  
原子力コードの共同開発整備 ② 大型高速電子計算機'の共同利用  
のため、 CDC-3600/3200 システムの導入を行なうことに  
なり、準備を開始した

- |     |               |                             |
|-----|---------------|-----------------------------|
| 2.  | 昭和40年2月1日     | 観光ホテルに假事務所開設                |
| 3.  | 昭和40年6月8日     | 通産省に輸入申請書提出                 |
| 4.  | 昭和40年6月8日     | 電子計算機準備室設立                  |
| 5.  | 昭和40年7月12日    | 常任理事会の承認                    |
| 6.  | 昭和40年8月1日     | 假事務所を東電旧館4階に移転              |
| 7.  | 昭和40年9月27日    | 輸入申請認可                      |
| 8.  | 昭和40年12月      | 電子計算機据付開始                   |
| 9.  | 昭和41年1月10日    | 大阪合同東京ビルに分室を開設<br>電子計算機室が移転 |
| 10. | 昭和41年1月10日    | 伊藤忠電子計算機(株)12名に嘱託登          |
| 11. | 昭和41年1月27~29日 | 電子計算機室開所披露                  |
| 12. | 昭和41年6月1日     | 営業開始                        |